

木頭中学校で河川環境学習を開催しました。

木頭中学校の全校生徒 28 名を対象に、ふるさとのすばらしい自然を守る「総合学習」の中で、那賀川の源流付近の水と下流域の水の水質調査を行いました。

【実施内容】

日 時：平成 23 年 10 月 27 日(木) 14：15～14：40

場 所：剣山トンネル付近

参加者：木頭中学校 全校生徒 28 名

徳島県南部総合県民局 那賀庁舎 2 名

その他（国交通、県関係、NPO 等） 約 10 名

フジタ建設コンサルタント 3 名

内 容：那賀川の水質調査 フジタ建設コンサルタント

（この他、「剣山周辺地域におけるニホンジカ被害の状況」、「那賀川源流付近の自然植生」についての学習や、「ラス巻きと植樹活動」が行われました。）

感 想：COD 測定は思ったとおり小さく、きれいな水質であることが分かりました。また、透視度測定でも、源流付近の水がたいへん澄んだ水だということがよく理解できました。

徳島県の川には COD が 8 になる川もあることを知り、那賀川の水を汚さないように大切にしていきたいと思いました。

【活動状況】

○那賀川について

最初に、上流域、中流域、下流・河口域の特徴や生息する生物および希少生物について学習しました。



○那賀川の水質調査（源流付近と下流域の水の比較）

・パケットテストによる COD 測定（低濃度） 単位 mg/l



COD（化学的酸素要求量）の説明やパケットテストによる測定の仕方の説明を聞いた後、班毎に源流付近と下流域の測定をしました。試薬により川の水の色が変化していく様子を興味深く見ていました。



パケットテストの反応時間を待つ間に、吉野川流域の川による水質の違いについて学びました。水質判定シートで各自、水質の判定をしました。判定には首をかしげたり、友達と比べたりしながら確認する様子うかがえました。

結果は、ばらつきもありましたが、源流付近、下流域とも 2 が一番多い結果となりました。

・透視度計による透視度測定（源流付近と下流域の水の比較）



透視度測定と測定の仕方の説明を聞いた後、代表生徒が測定を行いました。

視覚による判定なので個人差もありましたが、 源流付近：110～130cm、下流域：75～103cm
となり、源流付近の水が下流域の水より透視度が高い結果になりました。

測定結果に、生徒も納得した様子でした。



まとめとして、川の汚れの原因と、生活排水で汚れた水を魚が棲めるくらいに水で薄めるとしたら、どのくらいの量が必要かなどについて話を聞き、川の水をよごさないために自分たちにもできることを学びました。また、廃油を使ったキャンドル（廃油を有効利用できる）、アクリル毛糸で作った「たわし」（洗剤の使用量を少なくできる）の見本を見ました。

最後に、各班の班長と代表生徒からのあいさつがありました。



那賀川源流付近の豊かな自然に包まれた中での素晴らしい環境学習となりました。

